

第55回 全国民主主義教育研究会 全国大会

2025年7月26日(土)・27日(日) 立教大学池袋キャンパス4号館別館 オンライン併用

7月26日(土) *****

9:40~12:30 (講演は10:30~)

◇会長挨拶 前田輪音 ◇基調報告 杉浦真理(本会副会長)

◆記念講演 渡辺将人さん (慶應義塾大学総合政策学部教授)

「選挙デモクラシーの危機？」

—アメリカ、台湾を事例として—



14:00~16:45 分科会 (下記3つの分科会を並行して行います)

【第1分科会】民主主義思想と自治活動

1. 「政治リテラシーを錬磨する有権者教育—政党調べと政党作り」
〈今 陽童・埼玉県立久喜北陽高校〉
2. 「コメント—政治リテラシーの意味と目的を問う:実践知/命題知の二元性と学習転移の視点から」
〈堀内進之介・立教大学〉

【第2分科会】憲法と平和

1. 「憲法9条の戦後史—大学・公民科教育法の実践から—」〈秋池盛男・元成城大学非常勤〉
2. 「生徒と共に考えた現代日本の平和課題」〈真野春子・同志社高校非常勤〉

【第4分科会】SDGs 今年のテーマは、「気候変動に具体的な対策を(SDGs13)」

ゲストに立命館大学総合地球環境学研究所客員准教授でたんたんエネルギー社長(再生可能エネルギーの電気の供給会社)の木原浩貴さんを招き、気候危機に関する授業のモデルケースを示していただきます。その講義を素材に、分散会形式で授業づくりを体験します。FFF(Fridays For Future Japan)の学生も参加し、各校にゲストとして入るとこんなことができるというお話も提供します。

7月27日(日) *****

9:40~10:20 会員総会

10:30~12:30 ◇特別報告 久保田 貢さん (愛知県立大学教授・歴教協副委員長)

「新自由主義は教育・社会をどう変えたのか—主権者教育にもふれながら」

昼休憩中 立教大学共生社会研究センターの見学(希望者)

14:00~16:45 分科会 (下記2つの分科会を並行して行います)

【第3分科会】学力と授業づくり

1. 「『公共』の授業におけるグループディスカッションの実践」〈中江彬文・同志社高校〉
2. 「哲学対話と生徒自身の問いを生かした『公共』の授業」〈豊岡寛行・埼玉県立八潮南高校〉
3. 「中学公民における、模擬政党による政策発表授業を振り返る」〈井田佐恵子・駒場東邦中学校〉

【第5分科会】現代社会の課題と経済

1. 「公民科教員としてのこれまでとこれから—働くこととライフステージ」
〈日名舞鈴・城北中高校〉
2. 「楽しい経済学習・命を守る経済学習」〈瀬戸口信一・元公立中学校〉

タイムテーブル・申し込み方法などは裏面をご覧ください。

全民研ウェブサイトでも、ご案内しています。 <http://demokurashi.web.fc2.com/>



since 1970

全国民主主義教育研究会（略称「全民研」）は、「主権者を育てる教育」をめざし、意欲的な授業実践に取り組んできた民間の教育研究団体です。

本大会では、「戦後80年・被曝80年 あらためて主権者教育を考える」をテーマに掲げました。社会と学校の現状を明らかにしつつ、他者との信頼・共同を追求する、政治文化の次元を意識した主権者教育を、参加者の皆さんとともに考えていきたいと思ひます。

◆タイムテーブル

7月26日(土)←

9:40~10:25	10:30~12:30	休憩←	14:00~16:45	16:45~17:00	18:00~ ←
開会← 会長挨拶← 基調報告← ←	全体会 ← 記念講演← 渡辺将人氏←	休憩← 昼食←	分科会← 第1分科会(民主主義・自治)← 第2分科会(憲法・平和)← 第4分科会(SDGs)←	全国← 委員会← ←	交流会← 自由参加← (別会場)←

- ・会場の受付とZoomの入室は、9:20からです。27日も同様です。←
- ・交流会は、別会場にて行います。当日、参加者を募ります。←
- ・昼食は各自でお取りください。大学構内に利用できる食堂があります。大学周辺でも食事がとれます。←

7月27日(日)←

9:40~10:20	10:30~12:30	休憩←	14:00~16:45	16:45~17:00 ←
会員総会← ← ←	全体会← 特別報告← 久保田貢氏←	休憩← 昼食← 見学会← ←	分科会← 第3分科会(学力・授業づくり)← 第5分科会(課題・経済)←	閉会 ← 集会←

- ・休憩時間に、立教大学共生社会研究センターの見学会を行います。希望者をご参加ください。←

◆参加申し込みについて

参加申込はグーグルフォームへの記入によって受け付けます。
 下記URL、または右のQRコードからアクセスしてご記入ください。
 全民研ウェブサイトからもアクセスできます（大会のページをクリック）。
 クレジット決済とは連動していません。申込後に支払いをしてください。
 7月22日までをお願いします。（その後は可能な範囲での対応となります）

<https://forms.gle/uCoaupBThREiTgic7>



◆参加費 全日程(2日間):4000円 1日のみ:2000円 学生・院生:1000円

参加費支払いは、全民研ウェブサイト <http://demokurashi.web.fc2.com/> から クレジット決済が利用できます。トップページの左、「研究会や本の販売サイトはこちらから」をクリック→決済サイトへ。

郵送されるものではありませんが、「送付先」欄にはご住所を郵便番号からお書きください。

または郵便振替 00120-1-97883 加入者名 全国民主主義教育研究会

連絡欄に大会参加費 と記載してください。振込料・クレジット手数料のご負担、お願いします。

◆注意事項

全体会および1・2・3・5分科会は会場とオンライン併用で行います(双方向Zoom)。

第4分科会は分散会を行う都合上、完全オンラインで行いますので、第4分科会に会場に参加する方はPC等とイヤホンをご持参ください。

資料フォルダおよびZOOMの入室URLは、「参加の手引き」として7月23日までにメールで送ります。

◆問い合わせ先 sugasawaya@jcom.home.ne.jp (事務局長 菅澤)

第55回 全国民主主義教育研究会全国大会のご案内

大会テーマ:戦後80年・被曝80年 あらためて主権者教育を考える

本年、私たちは戦後80年・被曝80年を迎えました。日本国憲法を制定し、政治・経済・社会の「民主化」を目指しましたが、この目的は達成されたのでしょうか。国外を見れば、ウクライナ・ロシア、ガザ・イスラエルなど、戦争はなくなっていない。欧米の民主主義国家では分断が深刻化し、国際秩序が揺らいでいますが、揺れ戻す動きが起きるでしょう。

一方、国内に目を向けると、昨年、東京都知事選、兵庫県知事選、衆議院選は、これまでの「選挙の常識」を変えました。SNSとインフルエンサーの影響、メディアの役割の変化などで、「選挙デモクラシー」が危機に瀕しているという見方があります。学校では不登校や中途退学者、病気休職者が増加しています。教職を目指す大学生が減りつつあるなかで、教育の未来を支える取り組みが求められています。

戦後80年・被曝80年の今夏の大会で、参加者のみなさんと、あらためて主権者教育を考えてみたいと思います。

1. 期日 2025年7月26日(土) 7月27日(日)

2. 会場 立教大学(東京・池袋) オンライン(Zoom)併用

受付・全体会 会場 4号館別館 1階
分科会 会場 4号館別館 1階&2階

3. 日程

7月26日(土)

9:40~10:25 10:30~12:30 14:00~16:45 16:45~17:00 18:00~

開会 会長挨拶 基調報告	全体会 記念講演 渡辺将人氏	休憩 昼食	分科会 第1分科会(民主主義・自治) 第2分科会(憲法・平和) 第4分科会(SDGs)	全国 委員会	交流会 自由参加 (別会場)
--------------------	----------------------	----------	--	-----------	----------------------

- ・会場の受付と Zoom の入室は、9:20からです。27日も同様です。
- ・交流会は、別会場にて行います。当日、参加者を募ります。
- ・昼食は各自でお取りください。大学構内に利用できる食堂があります。大学周辺でも食事がとれます。

7月27日(日)

9:40~10:20 10:30~12:30 14:00~16:45 16:45~17:00

会員総会	全体会 特別報告 久保田貢氏	休憩 昼食 見学会	分科会 第3分科会(学力・授業づくり) 第5分科会(課題・経済)	閉会 集会
------	----------------------	-----------------	--	----------

- ・休憩時間に、立教大学共生社会研究センターの見学会を行います。センターは同封しました立教学院構内案内図にあるメーザーライブラリー記念館中2階にあります。見学は無料です。

4. 基調報告 杉浦 真理 (全民研 副会長:立命館宇治中高等学校)

「戦後80年・被曝80年 あらためて主権者教育を考える」

5. 記念講演

渡辺 将人(慶應義塾大学総合政策学部教員)

「選挙デモクラシーの危機?—アメリカ、台湾を事例として—」

シカゴ大学大学院国際関係論専攻でブルース・カミングスのもとで学び、ヒラリー・クリントンらの選挙事務所勤務経験を持ちます。講演ではトランプ政権 2.0 の誕生半年の選挙と民主主義について考えます。アメリカを事例にリベラル結束への壁(『アメリカ政治の壁』岩波新書)とジャーナリズムの凋落と希望(『メディアが動かすアメリカ』ちくま新書)、アジアの民主主義、台湾を事例に市民運動と多文化共生を考えます(『台湾のデモクラシー』中公新書、サントリー学芸賞)。

6. 特別報告

久保田 貢(愛知県立大学教育福祉学部教員 歴史教育者協議会副委員長)

「新自由主義は教育・社会をどう変えたのか —主権者教育にもふれながら」

教育目標・教育内容にもロールアウト新自由主義が浸透しています。新自由主義の特徴を整理しながら、ロールアウト新自由主義とは何か、学習指導要領改訂にむけてどう考えるべきか、「主権者教育」とも関わらせながらお話しします。

7. 分科会

第1分科会 「民主主義思想と自治活動」

「主体的・対話的で深い学び」—これが今次学習指導要領のスローガンでした。「それってどんな学び?」と施行当初は現場も当惑していましたが、各種学会や研究会で多彩な実践が報告されるようになり、学習指導要領が想定する学びも全国各地で実践されるようになってきました。しかし、学習指導要領が規定する「主体的・対話的で深い学び」は、果たして生徒が民主主義思想を血肉化し、権力から自律した自治活動を行えるものとなっているのか。今年の第1分科会では、アクティブだけれども王道な政治学習である模擬選挙の実践(報告1)を、政治リテラシー育成の観点から批判的に検討していきます(報告2:会場校より政治社会学者の堀内進之介氏に来ていただきます)。

報告1. 今陽童「政治リテラシーを錬磨する有権者教育—政党調べと政党作り—」

(埼玉・県立久喜北陽高校)

報告2. 堀内進之介「コメント—政治リテラシーの意味と目的を問う

: 実践知/命題知の二元性と学習転移の視点から」(東京・立教大学)

第2分科会「憲法と平和」

本年度は、憲法9条の戦後史と現代日本の平和課題をテーマとしました。報告1「憲法9条の戦後史」は教職課程に学ぶ学生を対象とした実践報告です。憲法をめぐる歴史と憲法9条の解釈の変遷をどのように取り上げたのか、大学生の意見も分析・検討します。報告2「生徒とともに考えた現代日本の平和課題」(Zoomでの発表)は高校の実践報告です。平和をめぐる情勢が大きく変化する中で、何を取り上げ、どのように伝えるのか、いかにして生徒の知性を鍛え思考を深めることができるか、ともに考えていきましょう。

なお、分科会世話人からは、従来の平和教育の蓄積・議論と現在の時事状況をめぐる議論をふまえ、これからの平和教育と実践に向けた問題提起を行う予定です。

報告1. 秋池盛男「憲法9条の戦後史-大学・公民科教育法の実践から-」(埼玉・元成城大学非常勤講師)

報告2. 真野春子「生徒とともに考えた現代日本の平和課題」(京都・同志社高校非常勤講師)

第3分科会(社会科の学力と授業づくり)

私たちは、十分な知識と批判力で社会参加する国民を育てる教育として「主権者教育」を推進し、新科目「公共」においても、知識習得を大切にしながら、生徒が様々な倫理的社会的課題に対して調べ考え話し合う活動に取り組んできました。今年は、「公共」における生徒の対話や議論を取り上げて、主体性や思考の深まりを高める問いや進行の工夫を確認しながら、価値観や論理的思考力の育成のあり方についてじっくり議論したいと思います。さらに、こうした生徒間の意見交流とは異なる活動として、社会問題の具体的解決を構想する学習についても、生徒がどんな政策を考え出せるのかを確認しながらその可能性を探りたいと考えています。

報告1. 中江彬文「『公共』の授業におけるグループディスカッションの実践」(京都・同志社高校)

報告2. 豊岡寛行「哲学対話と生徒自身の問いを活かした「公共」の授業」(埼玉・県立八潮南高校)

報告3. 井田佐恵子「中学公民における、模擬政党による政策発表授業を振り返る」

(東京・駒場東邦中学校)

第4分科会「SDGs」(気候変動に立ち向かう)

国連が地球沸騰化を言い、IPCCが警告しても、この気候変動危機への日本政府・企業・個人の取り組みは進みません。「公共」がはじまったが、持続可能な社会の担い手や、市民としての学習、探究活動として、SDGsが必ずしも取り上げられていません。

そこで、この分科会では、気候危機に立ち向かう目標に向け、オンラインで授業づくりを目指します。ゲストに木原浩貴(立命館大学総合地球環境学研究所客員准教授、たんたんエナジー社長<再生可能エネルギーの電気の供給会社>)に、気候危機に関する授業のモデルケースを示してもらいます。その講義を素材に、分科会参加者に授業づくりを体験していきます。

総合司会は杉浦真理。今年のテーマは、「気候変動に具体的な対策を(SDGs 13)」。分散会(世話人司会)で、具体的な授業(授業プラン、ゲスト等)をつくれるように、意見交換、情報交換をします。また、FFF(気候危機訴訟の方もいる)の学生さんにきてもらって、自分たちのアクションや授業で教える内容も考えます。ゲストとして各校に入るとこんなことができるというお話も提供します。

第5分科会「現代社会の課題と経済」

今年は教員2年目の若い先生と、ベテランの先生の発表です。報告1は、男子校の新任教員として働く中で感じた理想と現実、女性のフルタイム就業とライフステージについて考えます。報告2は、元区立中学校の先生の「命を脅かす経済停滞と貧困問題を乗り越える積極財政の経済学習！」の発表です。

報告1. 日名舞鈴 「公民科教員としてのこれまでとこれから—働くこととライフステージ」
(東京・城北中高校)

報告2. 瀬戸口信一 「楽しい経済学習・命を守る経済学習」(東京・元区立中学校)

8. 参加申し込み 7月22日までをお願いします。その後は可能な限りでの対応となります。

◆申し込み方法

参加申込はグーグルフォームへの記入によって受け付けます。
下記URL、または右のQRコードからアクセスしてご記入ください。
全民研ウェブサイトからもアクセスできます(第55回大会のページ)。
メーリングリストメンバーの方は、ML上のメールからアクセスできます。
クレジット決済とは連動しておりません。申込後に支払いをしてください。
<https://forms.gle/uCoaupBThREiTgic7>



◆参加費 全日程(2日間):4000円 1日のみ:2000円 学生・院生:1000円

参加費は、全民研ウェブサイト <http://demokurashi.web.fc2.com/> からクレジット決済ができます。
申込みとクレジット決済は連動しておりませんので、申込みをしてからお支払いください。
トップページの左、「研究会や本の販売サイトはこちらから」をクリックすると決済サイトに移動します。
郵送されるものではありませんが、「送付先」欄には、郵便番号や住所をお書きください。

または郵便振替でお支払いください。通信欄に「大会参加費」とお書きください。
00120-1-97883 加入者名 全国民主主義教育研究会

振込料・クレジット手数料のご負担をお願いします。支払い方法は申込サイト上でもご案内しています。

◆注意事項

- ・今回、全体会および、第1・2・3・5分科会は、会場とオンライン(双方向 Zoom)併用で行います。第4分科会は分散会を行う関係上、完全オンラインで行いますので、会場参加の場合もパソコン等およびイヤホンをご持参ください。
- ・諸注意、資料フォルダおよびZoomの入室URLは、『参加の手引き』にまとめて、7月23日までにメールでお送りします。なお、会場参加者へは、当日『報告要旨集』や諸資料を印刷物でお渡しします。

◆申込みに関する問い合わせ先 菅晴子(常任委員) kan_h@jcom.home.ne.jp

9. 大会に関する問い合わせ

山崎裕康(大会担当・副会長) yamaza@mva.biglobe.ne.jp 勤務先 都立駒場高等学校

【別紙】

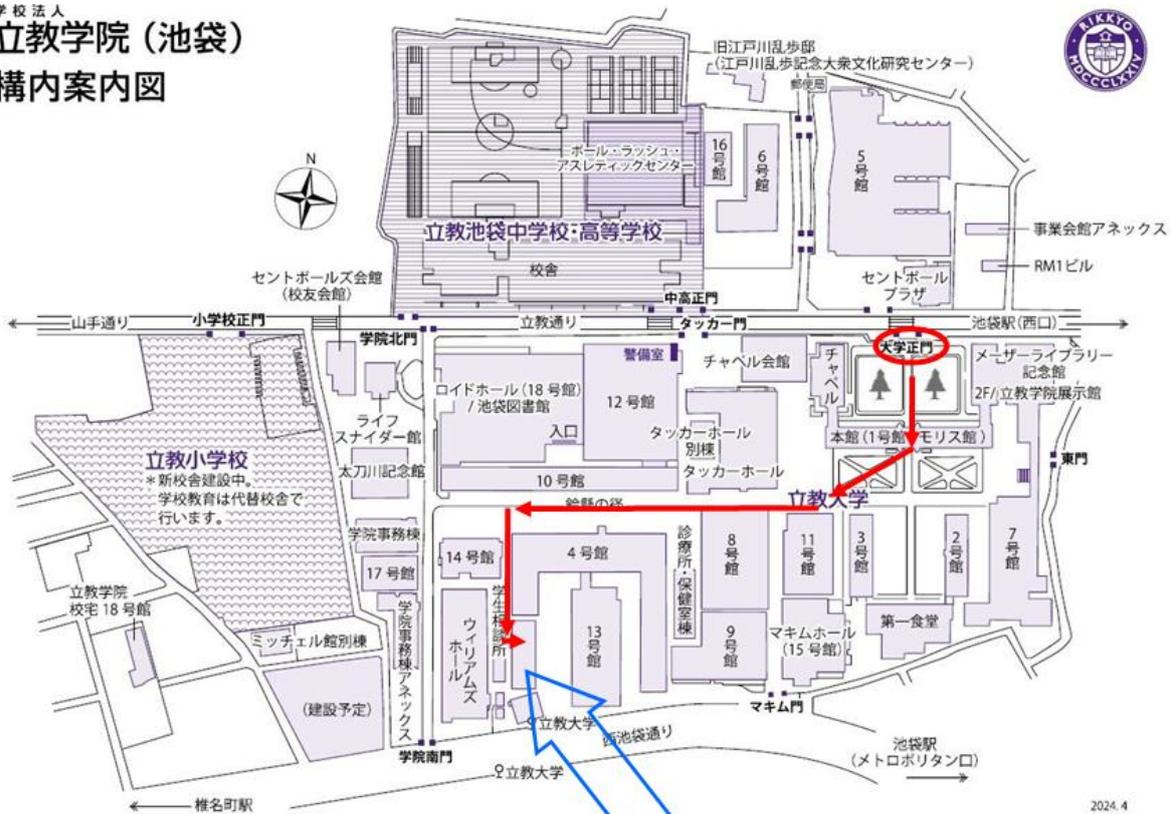
大会会場（立教大学池袋キャンパス 4号館別館）

J R池袋からのわかりやすい行き方

中央口を出て、西口（中央）方向＝副都心線方向へ、地下通路を進み、C3出口で地上に出るとその前が立教通り。右（西方向）へ150mほど進むと、立教大学正門です。大学内に案内表示を出しますので、それに従って4号館別館へおいで下さい。



学校法人 立教学院（池袋） 構内案内図



全民研大会会場 立教大学4号館別館

1階：受付および全体会・分科会会場

2階：分科会会場